

トラック4

最初は明るめだけど、少し落ち着いてセックスを覚悟している
最後は最初の明るさからギャップを出す感じで、暗めな感じだが、泣くわけではない。

このトラックは5年前の純愛トラックです。

他のトラックに比べてやや明るめな感じです。

【位置：やや左 距離：中】

（少しだけ明るめな感じ）

……あ。

お湯、大丈夫だった？

うん、そっか。ならよかった。

うちのお風呂、ちよつと癖があるから……。

一回冷たいの、ちゃんと切ってからじゃないと、冷水出てきちゃうんだよね。

ふふっ。

ごめんね、言えばよかった。

（ここは独り言のように、少し声を抑える）

なんか、ぼーっとしてた……。

疲れてたのもあるけど、気が抜けちゃって……。

（ここからすることを想像して、優しく語りかける）

……ね。こっち、おいで。

私のベッド。

……うん、気にしないで。

身体、洗ってもらったし。

【位置：やや左 距離：近】

……うん、来て。

の田：主人公歩いてベッドに向かう&ベッドが少し揺れる音。

【位置：中 距離：近】

んっ……。

君の匂い。私と同じ。

アールグレイの……ちよとしつとしてる感じの。

ふふっ。なんか、変な気分。

(ぼそっと)

一緒に匂いっただけで、安心する……。

(少し明るめに)

あの子、今日は……ほんと、ありがとう。

すごく楽しかった。

私、この町に生まれて、ずっとここにいてるけど……。

あのお祭りに参加するの、はじめてだった。

うん、なんか人が多くてさ、

通りがかっただけで、お酒の臭いもするし……。

だよね。

やっぱこの町、おじいちゃんが多いから、こういう文化が残ってるのかも。

君は、ここに越してくる前とか、行ったことあるの？

そっちの方だと、もっと人が多いだろうから、まともに歩けなさそう。

へえ、そっか。

……なんか、似たもの同士だね。

ふふっ。

(ここから、少しずつしんみりした雰囲気)

(一呼吸つく。)

……。

それに、花火も綺麗だった。

……ね。最後の。

失敗かと思ったら、一気に明るくなって、

そこからはぐわぐわんって。

手を繋いで、ドキドキしてたのに。

あの時は迫力がすごくて、2人とも変な顔で。

(すこしからかうように)

……うん、してた。

口を開けたまま、空を見上げて、

時がとまったみたいにぽかんって。

(少しトーンを下げる)

……。

あんなに心が浮いたような気分。初めてだった。

【位置::やや左 距離::近】

んっ……。

あのさ。

今日、親、いないから……。

大きい声、だしても、大丈夫だとおもう……。

【位置::左 距離::密着 有声音囁き】

(ゆっくり何うように)

だからさ、その。

……しない？

【位置::やや左 距離::近】

うん、大丈夫。

もう準備、できてるから。

……ほら、ここ。触って。

私の胸。

【位置::中 距離::近】

んっ……。

ドキドキしてるけど、少しあったかい。

(少し投げやりな感じで少し圧をかける)

……だめ。離さないで。

私、今日はそういう気分だから……。

んっ……。

ほら、服たくしあげて……。

んっ……。

ブラ、ずらすから。

んっ……。

(自分の胸をみながら、はずかしさを)

どう……？

私の胸。

無駄に大きい、この胸……。

えっちなことなんて、興味なかったのに……。

(俯いて、少し様子を伺うように、一呼吸入れる)

……。

綺麗って……。

(最初の「う」はちょっと強め、フェードアウトしていくような声)

う、嬉しいけど……。

ちょっと、恥ずかしい……。

【位置：やや右 距離：近】

（照れ隠しから少しだけ語気が強い感じで、差し出すみたいに）

……ん。

また、揉んでよ

んっ……。んっ、んっ……。

んっ、ふう……。

もっと、強くして、いいから……。

君も、胸、ぎゅっぎゅっしてしたほうが、んっ、気持ちいいでしょ？

んっ……。んっ、ふう……。

うん、そうやって……っ

んっ、ふう、はぁ、はぁ……。

（揉まれてる自分の胸を見て味わうように）

ふふっ。すごい、沈んでる。君の指。

んっ……。

一本ずつ、この感触が響いてくる……。

んっ、ふう……。

おっぱい、やわらかいっ

吸い込まれそうって……。

（少しだけ喘ぎをはっきりする）

んっ……。んっ、んあっ、はぁ、はぁ……。

んっ、でも、たしかに……。

窓から手出して、おっぱいの感触……とか。

聞いたことある。

んっ……

【位置：右 距離：近】

自分じゃあまり、んっ、はぁ……。

分からなかったけど……。

んっ、んぁっ……、ふう、はぁ……。

【位置：やや右 距離：近】

……え？

そら、自分で触らないし……。

んっ、んっ……。

一回だけ、大きき、気になったことはあるけど……。

んっ、んぁっ……。

【位置：中 距離：近】

う、うん……。一回だけ……。

さっき、君がお風呂に入ってる時……。

（喘ぎはつきり）

んっ、んちよっと、だめっ、そこ、乳首……んっ、敏感だから……。

んっ、んぁっ、んっ、んっ、ふう……ふう。

（おちついて、からかう感じで）

んっ、もう……。

急に触れるのだめ……。

んっ、んっ……。

びっくりして、変な声、出ちゃったじゃん。

ふう……はぁ……。

だって、家についた時から、ずっと……
んあっ……

君と、するつもりだったから……。
私ので大丈夫かなって……。

【位置：やや左 距離：近】

（呼吸を整えながら）

とにかく、もう、乳首だから……。
こんな姿、見られたくないから……。
んっ、ふう、ふう……。

【位置：左 距離：密着、有声音囁き】

それより、君の……。

の田、主人公のズボンをさする音

大きくなってる……。
んっ、ふう。

おっぱい揉んで、んっ。興奮した？

ふう、はあ……。

じゃあ、出そ？

苦しい、よね。

【位置：やや左 距離：近】

うん、私が脱がせるから……。
少し、腰。浮かせて。

んっ……

んっ、んっ……。

ズボンズボンを脱がせる音

（唾液を一回飲んでから、優しく触りながら）

んっ……。

ふふっ。大きい……

これが、君のなんだ。

んっ……。

わ、びくびくした……。

気持ちよさそう。

【位置：中 距離：近】

……入れる？

私のこと……。

うん、多分もう、大丈夫だから。

君におっぱい揉まれて、少し、濡れてる……。

【位置：やや右 距離：近】

私も、下。脱ぐね。

んっ、んっ……。

んっ……。

SE:下着を脱ぐ

はぁ、はぁ……。

(少し声を抑えて、独り言のように)

んっ……。

えっちな匂い、しちゃってる……。

(はっきり)

もう。あんまり嗅がないで。

SE:ずきずきとベッドを移動する音、衣擦れ音

【位置::中 距離::近】

(少し投げやりな感じ)

ほら、このまま。

仰向けになって、足、広げるから……。

……ん、でもあんまり見ないでね。

恥ずかしいし……。

うん、来て……。

の田:主人公がベッドを移動する音

(主人公がおちんぼを準備したことを見て少し弱さを見せるように)

ふっつ、この体勢、少し屈辱的。

身体、差し出すみたいにな……。

んっ……。

でも、すぐドキドキする。

それに、君のが、お腹にたふたふって。

これが、私に入るんだ……。

……うん。

そのまま、お願い……。

SE:挿入

★く少し力んだ感じの声

んっ……んっ……。

はあ、はあ……

んっ、んっ……っ、はあ……。

はいつ……たあ……。

ああ……はあ……。

んっ……ま、まだ……っ。

はあ、はあ……。

んっ、いつ……。

ふう……はあ……。

ご、ごめん……。

ちよっと、まだ……んっ、痛い……

んっ、はあ……。

一回、キス……。いい？

【位置：中 距離：密着】

んっ、ありがと……。

んっ、ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、はあ……んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、
はあ……はあ……。

【位置：やや左 距離：近】

血、すごい出ちゃってる……。

んっ、はあ……。

ううん、大丈夫、だと思う……。

少し、落ち着いたから……。

んっ……はあ、はあ……。

んっ、お願い、動いて……。

【位置：中 距離：近】

んっ、んっ、んんっ……っ。

んっ、ふう……はぁ……。

んっ、んっ、んあっ……。

っ、はぁ……はぁ……。



★く力みながら、少し涙を浮かべて自暴自棄な感じで

【位置：やや右 距離：近】

私のことは、んっ、んぐっ……

気にしないで、いいから……っ。

みんな、してること、だから……。

んっ、んあっ、はぁ……。

痛くても、みんな、我慢して……っ。

んっ、んっ、ふう、はぁ……。

私だって、君のこと、好き、だから……っ。

はぁ……はぁ……。

好き、なのに……っ。

んっ、んぐっ、いつ、んっ、んっ、ふう、はぁ……。

【位置：中 距離：近】

や、やだ……。

動き、止めないで……。

大丈夫、大丈夫だから……っ。

んっ、ふう、はぁ……。

大切にしてくれるの、嬉しい、けど……。
せつかくの、んっ、初めて……。
道具、つかって、準備してたから……。
んっ、んっ……。んっ、んっ、んっ、ふう……。

お願い……っ、壊れても、いいから……っ。
これで出来なかったら、んっ、私……っ。
自分のこと、わからなくなる、から……っ。
んっ、んぐっ、んっ、はぁ……。
好きな気持ち、どうして……。
はぁ……。ふう……。



(身体を止める)

(呼吸を整えながら、自然な感じで声がどもる)

んっ……。っ。
おちんちん、小さく……。
ごめん、ごめんね……。
んっ、はぁ……。はぁ……。
せつかく、良い、一日だったのに。
君も、私の手、握ってくれて……。
んっ、ふう……。
ようやく今日、出来たのに……。

ごめんね……。

【位置：中 距離：密着】

（主人公からキスをしてくる）

んっ……。

んっ、ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、んちゅっ

はぁ……。

んっ、キス。あつたかい……。

ちゅっ、んちゅっ、んっ……えろ、えろえろ、ちゅっ。

はぁ、はぁ……。

（落ち着いてはにかんだ感じで）

【位置：中 距離：近】

ふっふっ。

ありがとう、少し、焦ってた。

なんか涙出ちゃってるし……。

（腕で口を隠すように）

んっ……。

やっぱ、キスだめ。

（強がる感じで）

だって、こんな顔、近くで見られたくないから……。

ほら、あっちむいてよ。

(優しげに笑う)

冗談。

うん、よかった。

えっちでなくなっても、ちゃんと君のこと好き。

……そうだね、また今度。

その時は、もっとちゃんと準備して、少しずつ、しよっか。

……うん。

シート、血がいっぱいだから、洗濯しないとね。

そうしたら、また。一緒に寝よう？

疲れちゃったから、君に、抱きしめられたまま。

ゆっくりしたい。

ふふっ。ありがと。